

Interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのさっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌
【インターフェイス】



2012.
Winter

Vol.17



●特集

自宅での看護をサポートする 街中のサービスステーション

- みゆきの里 ボランティア交流会・地域懇話会開催
- ドクターズコラム
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表

健康・福祉21



医療法人 博光会 理事長

富島 三貴

Miki Tomishima

ごあいさつ

インターフェイス第17号をお届けいたします。

昨年選ばれた漢字は「絆」でした。未曾有の大災害や原発事故を始め、国内外で起こる様々な出来事から、先行きが見えない不安をあおられました。その結果、人と人との温かな関わりの中に一番の拠りどころがあることを思い知ることとなりました。

そしてこれからの高齢社会では 地域コミュニティにおいても絆作りは大変重要なことであり、様々な取組みがなされることでしょう。特に医療と介護の連携はこれから益々緻密に、多くの方々と手を携えて、地域の方々の絆を結ぶことも役割だと考えます。

昨年10月にオープンいたしました、駕町ケアガイドセンターと訪問看護ステーション駕町サテライトをご紹介します。市の中心エリアで生活されている高齢者やご家族の方々、また周辺地域から出勤していらっしゃる方々、お買い物の方々がちょっとお出かけの際に、気軽に相談できる街角相談室になりたいと思っています。また近隣の開業医の先生方が抱えている介護の“困った”に対応したり、情報提供などもさせていただきたいと考えています。

駕町ケアガイドセンターと駕町サテライトはまだ始まったばかりで少人数での運営ですが、どうぞいつでもお声かけくださいませ。周辺地域から市内へ出勤していらっしゃる方々、お買い物の方々とっても、お仕事や御用の時の空き時間等に立ち寄れる、安心と癒しのスポットになればと思います。

みゆきの里グループ

- ◆経費老人ホーム 富貴苑
- ◆レストラン ピオサルデー

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園

- ◆ウェルネススクエア 和楽
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか

- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆グループホーム ほがらか

自宅での看・介護をサポートする 街中のサービスステーション

訪問看護と居宅介護支援の 二つのサービスを提供

昼は通勤や買い物客で、夜も多くの人が行き交う熊本市下通り界隈。日本最大級のアーケードから1本入った、話題のお店も立ち並ぶ駕町通りに、2011年10月訪問看護ステーションと居宅介護支援事業所の二つの機能を持つ、拠点が誕生しました。

「実は中心部には古くから暮らしているご年配の方も多く、街中という立地はご両親などの介護をしながら昼間は働きに出ている方なども、昼休みなどに相談



に寄れるといったメリットがあります」と駕町通りケアガイドセンターで施設管理者を務める坂井ケアマネージャー（写真中央）。「ケアガイドセンターでは、介護保険の手続きや在宅ケアの利用計画などの相談を受け、専門家の立場でのアドバイスをを行います。併せて、医療保険・障害者支援制度・地域のボランティアなど、多種の制度やサービスを使い、ご家族のご意向を反映したケアプラン作成などのお手伝いをしています。」

また、訪問看護ステーションと一緒にいることで、在宅看護と医療の連携が持ちやすいという点も、利用者の皆様にとっては大きな安心につながります。「訪問看護の場合、看護師がご自宅に伺うので、在宅で使用されている酸素吸入や呼吸器の管理、筋力アップなどケアプランに基づいたリハビリ等、在宅での療養生活のサポートなどにも取り組みやすい」と訪問看護ステーションみゆきの里の坂本看護師（写真左）。「いつでも患者様やご家族の不安が取り除けるように、電話は24時間対応の体制を整えています。それぞれのご家族の生活を支えることを大切に、患者様とご家族に寄り添ってサポートしたい」とケアマネージャーを兼任する貞島看護師（写真右）も語ります。

駕町通りの立地を生かした 地域密着での居宅支援

駕町通りは利用者にとっても交通の便がいい場所ですが、大きな医療機関や行政機関が近いという看護と

M i y u k i n o s a t o



3人だけの施設ですが、和気藹々と仕事に励んでいます



開設式には、駕町通り商店街振興組合の谷口正氣理事長（左端）にもご参加いただきました



開設式での富島理事長の挨拶

介護の両面にとっても便利な地の利であります。「ケアマネージャーは、病院やデイサービスなどの施設と家族の間に入り、患者様とご家族の生活を調整する仕事でもあります。時には家族の代弁者となり、医師や各施設に疑問や希望を上手に伝えることも。そのためにも各機関との連携が取れる体制は不可欠だし、すぐにそれぞれに足が運べる距離というのは大変便利です」と坂井。貞島看護師も「患者様とはもちろんですが、医師やヘルパーさんとのつながりなども今まで以上に深めていきたい。これからますます多くの信頼と安心をご提供するためにも、いろいろな方との“ご縁づくり”が大切だと考えています。」

「長く入院生活をしておられて、ご自宅に帰られた患者様にお会いすると、皆さん在宅のほうがいい顔をされています。家族が一緒にいて、生活の音や匂いのする安心感が安らぎにつながる」と訪問看護のメリットを語る坂本看護師。「在宅での看護は確かに最初は大変です。でも慣れてくれば得るものも大きい。投薬や点滴も基本的に病院と同じことができることも多くの人に知ってほしい」そう。坂井も「患者様ひとりではなく、ご家族も含めて設備などのハードや気持ちの部分のソフトの両面から支えていきたいからこそ、仕事の合間や買い物のついでにまずは気軽に相談に寄ってもらいたい。看護だけでなく健康相談もできるような街中のサービスステーションとして利用してほしい」と言います。

駕町通りという便利な立地を生かして、新しいスタイルのサービスを提供するハブセンターとして、これからの活動がますます楽しみです。

御幸病院 駕町通りケアガイドセンター からのご挨拶

御幸病院駕町通りケアガイドセンター
管理者
主任介護支援専門員



坂井 充代

昨年10月3日に、駕町通りケアガイドセンターと訪問看護ステーションみゆきの里駕町サテライトが開設されました。それから3ヶ月、近隣の医療機関やサービス事業所等へのご挨拶回りや、ご利用者様と関係スタッフの間の連絡・調整などで、あつという間に過ぎていったように思います。

当センターは、ご自宅で生活される高齢者やご病気の方、そのご家族に対し、各種手続きの代行や相談、施設のご紹介などのサービスを提供いたします。まずは、医療機関や施設から退院・退所され、ご自宅での生活を始められるご利用者ご家族の不安を取り除き、問題点を一つ一つ整理していくことから始めます。

駕町通りケアガイドセンターのスタッフとして目指すのは、ご利用者と各支援スタッフのプロフェッショナルコーディネーターです。ご利用者に関わるすべての人が、ご利用者の希望に添ったサービスを提供できるよう、お互いの役割や立場に対する理解を深め、有機的に繋がった一つのチームとして働くことが出来るような、そんな支援チーム作りを、全体の連絡と調整を行いながらサポートしています。

さらに、市の中心部にあるという立地から、お仕事の合間に気軽にお立ち寄りいただいて、介護や福祉に関する情報の収集や相談をされながら、ホッと一息つけるような、そんな「場」としてもご利用いただければ、と考えています。

今後も、駕町通りケアガイドセンター及び、訪問看護ステーションみゆきの里・駕町サテライトを、どうぞよろしく願いいたします。

統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問
老人保健施設ぼたん園施設長
日本東洋医学会指導医・名誉会員

江頭 洋祐

インフルエンザの統合医療

今年もインフルエンザの季節になりました。

今年はA型インフルエンザの流行が予測され、すでに県内でも学級閉鎖などが始まっており、高齢者での流行が懸念されています。

すでにワクチンを打った方もおられると思いますが、それで一安心ということは決してありません。一番大事なことは、予防の基本、手洗い、うがい、マスクの励行です。

インフルエンザウイルスは湿気に弱いため、室内の湿度管理(50%以上)や戸外ではなるべくマスクをはめることが大事です。

統合医療の立場からは、全身の気(衛(え)気(き))のヴェールを強化し、鼻、口、のどなどの上気道の粘膜免疫を高めるようにすることです。

そのためには、かねてより免疫力を高める食物(蛋白質、粘りのあるもの)、運動、十分な睡眠を心がけることです。もし発症したら、できるだけ早期に抗ウイルス剤(タミフル服用かイナビル吸入)と、漢方では風熱型(温病)の銀翹散ぎんせうさん、または麻黄湯まおうとう+越婢加朮湯えつべいかじくとうエキス剤の服用がベストな治療と思います。また、発熱は人間の免疫力を高める感染防禦の生理的な反応ですから、解熱剤で無理に下げるのは、決して本来の治療にならないことを心得てください。もし、38度以上になったら頭だけは冷やすようにしましょう。

11/17

みゆきの里 ボランティア交流会・地域懇話会開催



11月17日、ウェルネススクエア和楽にて第10回目となるボランティア交流会・地域懇話会が開催されました。

当日はボランティアの方々や地域の皆様、みゆきの里の職員など100名以上が参加。まず、富島理事長が開会の挨拶を述べ、次いで川畑認知症対策室長より、「地域で今日から出来る認知症予防法」と題した講話が行われました。ユーモアたっぷりの身振りやお話を交えながら、具体的な例を挙げて認知症の予防について語る川畑室長の話に、集まった皆さんは大いに笑いながらも真剣に聞き入っていらっしゃいました。

講話の後は、立食形式の懇親会。来賓の西岡聖也熊本市議会議員の発声で、参加者の皆さんがお茶で乾杯されると、その後は田園キッチンの東島料理長・島本課長が腕をふるった料理に舌鼓を打たれながら、集まった皆さんと交流を深めておられました。



Doctor's COLUMN

ドクターズ コラム

健康診断のすすめ



柏田内科クリニック
内科胃腸科

柏田 元文 先生

柏田内科クリニック
〒860-0863
熊本市坪井3丁目
1-44
TEL:096-343-2555

御幸病院は熊大第3内科の時の先輩たちが多く、自分もしばらく当直をさせていただき大変お世話になった思い出深い場所です。今回コラムをとお願ひされ、早速引き受けました。

自分は父の後を継ぎ15年父の病院で内科消化器科をしていました。そろそろ築45年の病院も古く補修も多かったため、心機一転病院を10月より新築移転することにしました。柏田内科クリニック内科胃腸科です。専門は胃腸ですが、開業医ですの一通りの疾患は診るようになっています。患者さんに健康の大事さを伝え、病気の早期発見を訴え、病気で落ち込んだメンタル面に癒しの空間を与えたいと、新しいきれいな病院を建てました。

開院してすぐですが知人が開院祝いでもと、どうもないけど人間ドックをしてくれないか

と来院されました。血液検査は何も異常なし、検尿も血尿なしと順調でしたが、腹部超音波検査で腎臓に5cmもの腫瘍がありCTで確認したところ腎臓癌でした。幸い転移もなく手術となりましたが、背部痛があったわけでもなく血尿もなく無症状で大きな癌が見つかったのです。

こんな時代だから、血液検査で何でも分かるのではと思っている患者さんが多いようです。でも、簡易な検査では引っ掛からない癌はたくさんあります。まさに健康診断の大事さを知らされた経験でした。これからも何とか年1回の人間ドックをみなさんに進めていきたいと思っています。(当院では発癌のリスクとなるタバコをやめるよう禁煙外来もしています)

特集 和楽って WARAKU こんなところ!

ウェルネス
スクエア

Vol.17



「プロから学ぶ季節のあったか料理教室」開催

11月19日(土)、熊本市幸田公民館で、「プロから学ぶ季節のあったか料理教室」が開催されました。この料理教室は、ウェルネススクエア和楽の田園キッチンが熊本市と協働で、毎回様々なテーマを選び実施しているもので、幸田公民館では今年3回目の開催になります。

当日は、事前に応募された参加者の皆さん15人をを前に、



まず田園キッチンの東島料理長がスライドを使って、「体を内側から温める野菜と調理法」について説明

しました。東島料理長が人参のイラストを例に、「陽射しを欲しがらる葉の部分は陰性で、陽射しの要らない根の部分は陽性。従って、根の部分には体を温める効果がある」との説明に、参加者からは感心の声しきりでした。

その後、東島料理長と田園キッチンの島本課長の指導で、調理実習の開始。皆さんで「根菜の重ね煮」と「青菜のしゃぶしゃぶ」を、実際に作っていただきました。参加者の方からは「寒い季節にぴったりですね」といった声も聞かれました。

この記事でご紹介した「根菜の重ね煮」は、紙面下側にレシピを掲載してありますので、是非読者の皆様もご自分で作られてみてください。



田園キッチンの料理教室

“根菜の重ね煮”

材料 (4人前)

●ごぼう …… 100g	●梅酢 …… 少々
●蓮根 …… 100g	●塩 …… 少々
●菊芋 …… 100g	●胡麻油 …… 100g
●大根 …… 100g	●醤油 ……
●人参 …… 100g	●青みにインゲン豆

レシピ

- 1.同量の根菜を食べやすい形に切る。ごぼうは5ミリ幅斜め切り、蓮根7ミリ細銀杏切り、他材料は乱切り。
- 2.鍋にごぼうを入れ、胡麻油と梅酢少々で蒸し煮をする。
- 3.蒸し煮が出来たら、次に蓮根、菊芋、大根、人参の順番で野菜を重ねて、塩をひとつまみ振り蒸し煮をする。
- 4.野菜に汗が出てきたら水をひたひたに入れ、最低でも20分以上煮る。
- 5.野菜のうまみが出て煮汁が少なくなったら、4で入れた水の1割量の醤油を入れ、天地返しをする。
- 6.インゲン豆を入れ、さらに煮詰めて焦がさないように仕上げる。



幸田公民館にて、「大人の基礎体力UP講習」開催!

平成24年1月より、幸田公民館主催の講座として、和楽のトレーニング室が「大人の基礎体力UP講習」を開催いたします。

全6回のコースで、講習の最初と最後にスポーツテストを実施し、トレーニングの成果を確認できます。

- ◆場所: 幸田市民センター
熊本市幸田2-4-1
- ◆期日: 1月13日・27日、2月10日・24日、
3月9日・23日(全6回)
- ◆時間: 毎回午後7時30分～8時30分

※この件についてのお問い合わせは、
幸田公民館 Tel:096-379-0211 まで

■ 今後の行事予定 Event schedule

1月中旬 みゆきの里 どんど焼き
3月1日 みゆきの里創立記念日



昨年の
創立記念式典

■ 担当医表 Charge medicine table

		月	火	水	木	金	土
第1 診察室	午前		江頭				
	午後					江頭	
第2 診察室	午前	津出	吉田	山浦	川野	吉田	担当医
	午後	高木	本田	高野	高野 金場★	津出	
第3 診察室	午前						
	午後			和田山			
鍼灸 治療室	午前	長尾			長尾		
	午後		長尾		長尾		
歯科室	午前	田川	田川	田川	田川	田川	田川
	午後	田川	田川	田川	田川	田川	

●王研究員の漢方相談…毎週水曜日の午前・午後、毎週木曜日の午後

吉田院長・津出診療部長・川野内科医長 本田医師・高野医師・高木医師・山浦医師	内科を中心として、 種々の診療を担当します。
磯貝ホスピス医長・鈴木医師	緩和ケア病棟を担当します。
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・ 心療内科を担当します。
和田山医師	整形外科を担当します。
田川歯科医師	歯科を担当します。要予約です。

●リハビリテーションの担当医／川野、吉田、津出、高木
●緩和ケア入院相談／月～土 8:30～17:30(随時)
相談窓口／医療連携室

■ ニュースリリース News release

みゆきの里へ各地から訪問・視察

9/29



オランダ・レーワルデン大学と九州大学の合同プロジェクトチームの方々が、ぼたん園・通所リハビリでのレクリエーションの様子を視察されました。

11/16



神奈川県議会・民主党かながわクラブ所属の県会議員3名が、みゆきの里を訪問。理事長以下幹部と懇談した後、御幸病院・みゆき園・ほがらかを視察されました。

12/1



韓国順天郷大学院の学生及び引率教諭35名が、みゆきの里を訪問。御幸病院にてみゆきの里についての説明を受けた後、みゆき園・ぼたん園を見学されました。

私たちは、地域の人々、利用者ご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・漢方内科・リハビリテーション科・心療内科・アレルギー疾患内科・小児科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師：岡崎止雄]

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時

土曜 午前8時30分～午後12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟:20床
- 一般病棟:30床
- 回復期リハビリテーション病棟:85床
- 医療療養型病床:51床
- 併設:訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院
〒861-4172 熊本市御幸笛田6-7-40
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>